

いつもお世話になっております。
今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

「今年の夏は史上最も暑い・・・」と聞いていましたが、確かに日中は暑いですが、朝晩は涼しい日も多く意外と過ごしやすいように感じております。
みなさまはお元気でいらっしゃいますでしょうか。

とある土曜の朝、「日中は36度・・・」という予報の後、テレビ画面に女優が高野山を旅する映像が流れました。「高野山に行こう。絶対涼しい!!」そう思い立った私は、洗濯したり早めの昼食をとったりして、お昼前に電車に乗りました。初めて高野山へ行ったのはたしか10年以上前のことで、途中ケーブルカーに乗ったくらいしか記憶がありません。

大阪から高野山へは特急電車もありますが、節約して急行に乗りました。和歌山の橋本駅まで1時間。乗り換えて極楽橋駅までさらに1時間。次はケーブルカーに乗り換えて5分ほどで到着です。

橋本駅からは次第に山深い景色になっていきますが、途中の「高野下駅」あたりで、激しい雨が降り始めました。雨が降るなんて全くの想定外。一向に止む気配もなく高野山駅に到着しました。

駅からはバスに乗って中心部へ向かいますが、車内のアナウンスは日本語とフランス語でした。フランスとドイツからの旅行客が多いそうです。彼らは宿坊に泊まるらしく、大きな荷物を抱えてバスを降りていきます。私は終点の奥之院でバスを降りました。雨は小降りになっていましたが、杉木立の間を雷鳴が響きわたっていました。

奥之院にはたくさんの供養塔が立っていて、大手企業の凝った意匠の供養塔や、歴史上の人物の苔むしたお墓を眺めつつ、御廟へ向かいました。御廟は空海がご入定なさっている場所で、今もなお長い瞑想をされていると考えられています。まず手前の燈籠堂で手を合わせ、燈籠堂の裏側へまわると御廟があります。御廟の前には熱心に般若心経を唱える方がいらっしゃって、ミナーな気持ちを少し恥ずかしく思いました。

お経を聞きながら空海に思いを馳せていると、あらゆるものを超越した様な、まるで生命の源の様なエネルギーを感じ圧倒されました。胸がいっぱいになって、あれはいったい何なのだろうと考えを巡らせながら、金剛峯寺に立ち寄ることも忘れて、家路につきました。高野下駅付近で雨が上がりはじめ、山のふもとは快晴でした。

翌日は同僚の結婚式に招待されていました。教会では、御廟で感じたのとはまた違うパワフルなエネルギーが降り注いでいるのを感じました。

ブツダとかイエスとか名前は色々ありますが、根源はひとつの素晴らしいものにつながっていて、信仰のあるなしにかかわらず、何処にでも誰にでも分け隔てなく光は降り注いでいて、それに気が付くこと・受け取ること・信じて感謝することは、その人の感性なのかもしれないと思いました。

まだまだしばらくは暑さが続きそうですが、みなさまもどうぞお元気で過ごしてくださいませ。



ケーブルカーの中は小学生の団体でいっぱいでした。
宿坊で合宿するようです。



御廟橋の向こうは聖域で写真撮影先禁止です。
一番奥に見えるのが燈籠堂